



5日目 Ustreamの「ソーシャルストリーム」を活かせ

●Ustreamとは <http://www.ustream.tv/>

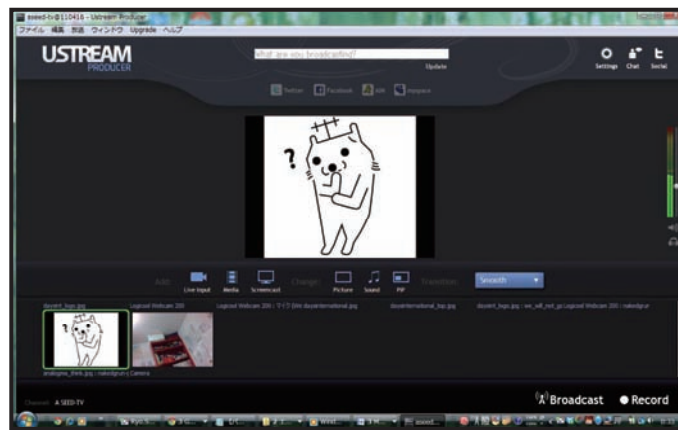
生中継（ライブ配信）とチャット（リアルタイムでのソーシャルメディアを使ったコメントのやりとり）の機能が充実しているインターネット動画共有サービスです。パソコンとウェブカメラにネット環境があれば、あるいはスマートフォンがあれば、誰でも無料でインターネット上に動画配信ができます。Twitter や facebook と連携させて、生放送にコメントを投稿することができるため、視聴者を短時間で大量に集める事が可能となっています。撮影・保存・アップロードが必要となる YouTube より手軽に動画配信ができるのが強みでしょう。

●NPOにとってのUstreamの魅力

- ・イベントや活動現場のライブ中継を安価に配信出来る。記者会見も独自開催できる。
- ・配信した内容についてソーシャルメディアを通してリアルタイムの反響を得られる。
- ・投票機能など参加型イベントを提供でき、口コミ広報に強い。
- ・ほとんど労力をかけることなく、より多くの人にイベント等の動画を届けられる。
- ・YouTube 同様、マスメディアが伝えられない内容を伝える事が出来る。



例:@A SEED-TVの「番組情報」



Ustream Producerの画面

1 設定編

Twitter や YouTube と同様の新規登録でアカウントを作り、ユーザー情報を入力します。
プロフィールにある「外部設定」メニューでは、Twitter や facebook、YouTube と連携させる事ができます。

番組設定	自分が配信する番組（チャンネル）としての基礎的な情報を、複数設定できます。番組名、カテゴリー（選択制）、番組タグ（検索に使われます）、番組ロゴ（画像）、紹介テキストなどです。それぞれの番組名が、ライブ配信の際のURLの末尾にあてはめられます。配信後はさらに動画ごとにURLが割り振られます。設定した番組ごとに「番組情報」が与えられ、さらに細かくカスタマイズする事ができます。
録画済みビデオ一覧	すでに録画した動画を確認・更新できます。
デザイン	番組の背景などを変えられます。
イベント	日付を設定してイベントを予告・報告できます。
その他の設定	公開／非公開、チャット／ソーシャルストリーム機能の有無、視聴者数の表示など、細かく設定ができます。
コミュニティメンバー	番組を登録しているメンバーと、その人のコミュニティを確認できます。
統計	ライブ配信や人気動画の延べ視聴者数などがわかります。



2 ライブ配信編

「ライブ配信」ボタンを押すと、配信する番組名の選択、マイクとカメラの選択を経て、配信画面になります。カメラの角度や音量を確認し、「Record」ボタンを押すと、配信の有無に関わらず動画の記録が始まります。「Broadcast」ボタンを押すと、配信が行われます。その際、Twitter 等を連携させていると、「ツイートしますか？」と聞かれますので、お好みでつぶやきましょう。公開せず、まず録画しておいて、後で公開する事も可能です。

ライブ配信にあたっては、タイトル、内容、タグの入力ができます。あらかじめ配信前に基礎的な情報（プログラムや公式サイトURL、Twitter アカウントとハッシュタグなど）を決めておくといでしょう。動画のデータはパソコンのハードディスク上ではなく、インターネット上の Ustream に保存されます。同時に YouTube に変換できるので、より検索される事を望む場合は変換をしましょう。

「番組設定」の「その他の設定」で、「チャット／ソーシャルストリームの利用」を表示設定にしていると、ライブ配信時に視聴者がログインしてコメントを投稿したり（チャット表示）、そのコメントを Twitter や Facebook 上で発信したり（ソーシャルストリーム）する事が可能になります。この機能により、ライブ配信が双方向性を発揮し、「視聴者参加型番組」になります。

カメラについて

ウェブカメラは 1000 円から PC ショップで購入できます。マイク付きの 2000 円前後のものでも十分、映像と音声を配信できますが、予算が許すならある程度良いもの（5000 円～）を求めましょう。

マイクについて

音声のクオリティは映像以上に重要です。ノイズが流れる映像は短時間であっても視聴者に優しくありません。予算は必要になりますが、指向性マイクや集音マイクを使う、あるいは USB オーディオインターフェイスを使うと、格段に優れた映像配信を行う事ができます。

スマートフォンでの配信

スマートフォンにも、Ustream 配信アプリを入れる事で、簡単に Ustream 配信が可能となります。解像度や音質は下がりますが、電波さえ届けばいつでもどこでも配信出来るのは魅力です。

●Ustream everywhere : <http://www.ustream.tv/everywhere>

より高度な配信

配信の前後にタイトル画面や BGM を入れたり、マイクを切り替えたりと、より演出にこった配信を目指すのであれば、Ustream 公式の配信クライアントソフト「Ustream Producer」を使ってみましょう。無料版・有料版（99 ドル）があります。無料版はカメラを 1 台しか使えません。無料版でも十分に様々な機能が使えます。

●Ustream Producer : <http://www.ustream.tv/producer>

重要ポイント

- ・YouTube 同様、セミナーの動画を安易に Ustream で配信するのはリスクを伴います。特にリアルタイムで配信される Ustream は、常に著作権侵害等のトラブルがつきまといます。内容について、事前に出演者・参加者の肖像権や著作権の侵害にならないよう万全の配慮をしましょう。
- ・問題を伝え、解決するための NPO 活動の基本はイベント企画にあります。Ustream のライブ配信機能（動画中継＋ソーシャルストリーム）は、そんな NPO のためにある機能といっても過言ではありません。自前で配信する事が出来なくとも、配信を手伝ってくれる NPO を頼るなどして、貴重なイベントの内容を埋もれさせず、団体の財産にしていきたいものです。
- ・当然ですが、音楽や映像など、あらゆる著作物を無許可で配信する事は違法です。ただし例外として著作権保有者や著作権管理団体と契約している投稿サイトにおいて、楽曲のコピー演奏であれば、許可している場合があります。

【参考】

「USTREAM で配信する前に」 <http://www.ustream.tv/jp/copyright/2>

「インターネット みんなの安心・安全ガイド」 <https://www.telecom-isac.jp/an119/06/060100.html>

「日本音楽著作権協会 (JASRAC)・USTREAM 利用可能音源検索データベース」 <http://www.japanrights.com/ust/terms.html>

つつ重要！

